

| | | | |
|--------------------------|--|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数) | 社会・集団・家族心理学 (社会・集団) (4 単位) | 3. 科目番号 | PSMP2128 |
| 2. 授業担当教員 | 水谷 聡秀 | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習(ディスカッション・フィールドワークを含む) | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 「心理学入門」、「心理学概論」を履修済みであることが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | <p>人は他者と関わり、集団に所属しながら生活している。そして人は、他者や集団や社会から様々な影響を受けると同時に、自らも対人関係や集団に影響を及ぼしている。社会心理学は、社会学と心理学の境界領域にあたる学問領域であり、人と他者・集団との関係の中で、人の態度や認知に表れるさまざまな変化を明らかにすることを主なねらいとしている。</p> <p>本科目では、社会心理学の主要な研究分野である自己、対人認知、対人関係、集団等の心理について、基礎的な知見を学習するとともに、現代社会における諸現象について、社会心理学的視点から読み解いていく。</p> | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学における社会心理学の位置づけについて理解し、説明することができるようになる。 2. 社会心理学における主要トピックスの要点を理解し、説明することができるようになる。 3. 日常生活や社会現象について、社会心理学で提唱されている理論を用いて考察できるようになる。 | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義前には必ず該当部分に目を通し、疑問点を明確にしておく。 ・2 回レポートを提出する。(A 4 用紙 2 枚、2,400 字以上) <ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションの特徴と問題 2 マス・メディアの特徴と問題 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 齋藤勇編著『図説社会心理学入門』誠信書房、2011。</p> <p>【参考書】 山田一成・北村英哉・結城雅樹編著『よくわかる社会心理学』ミネルヴァ書房、2007。</p> <p>【教材】 随時資料を用意し活用する。</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.心理学における社会心理学の位置づけについて理解し、説明することができるようになったか。 2.社会心理学における主要トピックスの要点を理解し、説明することができるようになったか。 3.日常生活や社会現象について、社会心理学で提唱されている理論を用いて考察できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>学則で決められた単位取得の条件 (3/4 以上の出席) を満たしていることを前提として、授業態度点 (ディスカッションへの参加状況、遅刻欠席居眠り私語の状況) 30%、小テスト・課題レポート・期末テスト 70% の合計得点により、成績を評価する。</p> | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書は比較的に見やすく、分かりやすいものを採用した。自分でも十分読めると思うので、興味のあるところから読んでみてほしい。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言してほしい。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 ・他の受講生の学習に迷惑をかける行為 (携帯電話の操作、私語、居眠り、グループ活動に協力しない等) をしないこと。 | | |
| 13. オフィスアワー | 原則週に 2 コマを第 1 回の講義の際に指示をする。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第 1 回 | オリエンテーション (講義概要の説明) 社会心理学研究の四つのレベル (自己レベル、対人レベル、集団レベル、分化レベル) | 事前学習 | テキスト pp.2~5 を読んで、社会心理学の概要について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「社会的アイデンティティ」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第 2 回 | 社会心理学の研究手法 (自然観察法、質問紙法、実験的方法、アーカイブ利用法) | 事前学習 | テキスト pp.5~8 を読んで、研究方法について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「質問紙法」「評定尺度」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第 3 回 | 社会心理学の主要な理論的背景 (社会的欲求理論、社会的学習説、文化相対論、認知主義理論) | 事前学習 | テキスト pp.8~11 を読んで、主要な理論の概要について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「社会的学習」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第 4 回 | 自己意識 (自己意識とは、公的自己意識と私的自己意識) | 事前学習 | テキスト pp.14~20 を読んで、自己意識について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「自己関連づけ効果」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第 5 回 | 自己評価 (自己評価の高さと安定性、自己評価と社会的比較、自己肯定欲求とポジティブ・イリュージョン) | 事前学習 | テキスト pp.20~28 を読んで、自己評価について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「ポジティブ・イリュージョン」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |

| | | | |
|------|---|------|---|
| 第6回 | 実習（自己理解：性格検査を実施） | 事前学習 | 性格検査だけでなく、自己を理解する方法について調べてくる。 |
| | | 事後学習 | 結果の分析について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第7回 | 対人認知 （印象形成、帰属理論） | 事前学習 | テキスト pp.28～38 を読んで、印象形成と帰属理論について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「原因の帰属過程」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第8回 | 社会的認知 （自動的処理と統制的処理、ステレオタイプと偏見） | 事前学習 | テキスト pp.38～47 を読んで、社会的認知について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「プライミング効果」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第9回 | 社会的発達心理 （親子関係、友人関係、社会的認知の発達） | 事前学習 | テキスト pp.50～62 を読んで、社会的発達について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「愛着」「母性剥奪」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第10回 | レポート発表（災害時になにをすべきか） | 事前学習 | テーマにそって調べてレポートを書く。 |
| | | 事後学習 | 「避難所リーダーのタイプ」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第11回 | 性格と社会心理 （性格と相性、精神分析的な性格、性格特性論と人間関係、現代社会に潜む性格的問題） | 事前学習 | テキスト pp.62～78 を読んで、性格に関する理論について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「エゴグラム」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第12回 | 社会的態度 （態度の定義、説得的コミュニケーション、マス・メディアの影響） | 事前学習 | テキスト pp.78～85 を読んで社会的態度について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「精緻化見込みモデル」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第13回 | 行動決定心理 （ヒューリスティックス、裏切りを認知する能力） | 事前学習 | テキスト pp.86～99 を読んで、ヒューリスティックスについて理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「ヒューリスティックス」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第14回 | 対人魅力と好意的人間関係 （外見的魅力、近接性と接触性、自己開示、類似性と相補性、不協和心理） | 事前学習 | テキスト pp.102～112 を読んで、対人魅力について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「バランス理論」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第15回 | 対人コミュニケーション （言語・非言語、表情、アイ・コンタクト、ジェスチャー、対人接触行動） | 事前学習 | テキスト pp.112～134 を読んで、対人コミュニケーションの種類について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「ノンバーバル・コミュニケーション」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第16回 | 実習（社会心理学実験） | 事前学習 | 社会心理学実験に関する資料を事前に読んで、実験について概要を理解する。 |
| | | 事後学習 | 結果の分析について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第17回 | 自己呈示と自己開示 （自己呈示、セルフ・モニタリング、対人関係の展開、自己開示） | 事前学習 | テキスト pp.134～144 を読んで、自己提示と自己開示について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「セルフ・モニタリング」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第18回 | 攻撃行動 （内的衝動説、情動発散説、社会的機能説） | 事前学習 | テキスト pp.144～154 を読んで、攻撃行動の代表的な理論について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「モデリング」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |
| 第19回 | 援助行動 （援助行動の心理、援助を求める側の心理） | 事前学習 | テキスト pp.155～167 を読んで、援助行動に関する5つの理論について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「傍観者効果」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |

| | | | |
|------|--|------|--|
| 第20回 | 集団と個人の心理 (社会的影響、集団魅力と集団規範、リーダーシップ) | 事前学習 | テキスト pp.170～180 を読んで、集団の心理について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「PM理論」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第21回 | 集団の影響 (内集団びいきと外集団差別、少数派と多数派、集団による意志決定) | 事前学習 | テキスト pp.180～188 を読んで、集団の影響について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「集団極性化」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第22回 | レポート発表 (マス・メディアの特徴と問題) | 事前学習 | テーマにそって調べてレポートを書く。 |
| | | 事後学習 | 「スリーパー効果」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第23回 | 情報化と社会心理 (マス・コミュニケーションの特徴、インターネット・コミュニケーションの特徴) | 事前学習 | テキスト pp.188～202 を読んで、情報化について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「培養理論」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第24回 | 消費者行動の心理学 (消費者の意志決定、意志決定過程の性質、情報の認識と態度形成、個人差と社会的要因) | 事前学習 | テキスト pp.203～209 を読んで、消費者行動について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「プロスペクト理論」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第25回 | 文化と社会化 (個人主義と集団主義、自己観の文化差、認知様式の文化差) | 事前学習 | テキスト pp.212～220 を読んで、社会化について理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「個人主義と集団主義の特徴」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第26回 | 社会的適応 (ストレスとコーピング、ソーシャル・サポートの効果) | 事前学習 | テキスト pp.220～231 を読んで、ストレスとコーピングについて理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「コーピング」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第27回 | ジェンダーと社会心理 (ジェンダー・ステレオタイプ、性役割と男女の勢力格差、ドメスティック・バイオレンス) | 事前学習 | テキスト pp.232～238 を読んで、ジェンダーについて理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「ジェンダー・ステレオタイプ」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第28回 | 社会的貢献の社会心理 (コミュニティと社会心理学、災害に備える社会心理学、参加型社会をつくる) | 事前学習 | テキスト pp.238～246 を読んで、社会心理学が社会にどのように貢献するかについて理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「ボランティア活動」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第29回 | 社会心理学の応用 (環境、健康、学校、職場、臨床、経済) | 事前学習 | テキスト pp.248～260 を読んで、社会心理学がさまざまな分野にいかに応用されるかについて理解し、疑問点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | 「グループ・ダイナミクス」について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。疑問点については次時の授業で質問する。 |
| 第30回 | まとめ (用語・概念を中心に復習する) | 事前学習 | テキストに出てきた用語について分からないものを確認する。 |
| | | 事後学習 | 配布されたプリントを使って用語・概念について参考書などでさらに調べて理解した内容をノートにまとめる。 |